

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 26 年 3 月 23 日作成

事務事業名	県ボランティア協会参画事業 □ 実施計画事業	所属部局	市民部	単位番号	4050	
		所属課室	市民活動センター	課長名	次長 大芝久	
基本政策	I 情報と連携の都市づくり	所属担当	市民活動センター	担当者名	芦沢 順子	
	II 地域ネットワークの充実		会計	名称	款項 目 細目 細々目	
政策	III 市民の自主的活動の促進	事業区分	01 一般	02 01	08 040 02	
	IV		□ 国の制度による義務的事業	□ 施設等維持管理事業		
施策	V		□ 県の制度による義務的事業	□ 補助金交付事業		
	VI		□ 市の制度による義務的事業	☑ その他の事業		
事業期間	□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度)	法令根拠	□ 義務化されている協議会等の負担金			
	□ 期間限定複数年度 (~ 年度)					
事業の内容 事業の内容 事業の概要	事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 県ボランティア協会負担金(会費) 県ボランティア協会との連携を深め活動センターの運営の向上を目指す。	事業費の主な内訳 (25 年度 決算見込)	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
		会議研修等参加負担金	5			
					計	5

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	県ボランティア協会との連携を深め活動センターの活性化を図る
25年度活動実績	県ボランティア協会との連携を深め活動センターの活性化を図る
26年度活動予定	県ボランティア協会との連携を深め活動センターの活性化を図る
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	県ボランティア協会への加入
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	県ボランティア協会への加入し、情報収集、共催による各種事業の実施
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	事業の実施により、センター登録団体の活動促進に繋がる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:負担金支払い	回数
イ:	
ウ:	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:県ボランティア協会加盟団体	数
イ:	
ウ:	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:共催事業	回数
イ:	
ウ:	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:センター登録団体	数
イ:	

		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	5	5	5	5		
		事業費計 (A)	千円	5	5	5	5	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1		
		人件費計 (B)	千円	5	5	5	5	0	0
		(A)+(B)	千円	10	10	10	10	0	0
		活動指標	ア:回数	1.0	1.0	1.0	1.0		
			イ:						
			ウ:						
		対象指標	ア:数	270.0	270.0	270.0	270.0		
			イ:						
			ウ:						
		成果指標	ア:回数	5.0	5.0	5.0	5.0		
			イ:						
			ウ:						
		上位成果指標	ア:数	229.0	242.0	183.0	190.0		
			イ:						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	NPO、市民団体、ボランティア団体の情報収集、活動支援のため、加入する。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	NPO、市民団体、ボランティア団体の理解が進んだ。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	県ボランティア協会への事業に関する問い合わせの紹介、共催事業の推進に対する意見がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	共催の事業に各団体の意見、要望を取り入れている。
③ H 25 年度に実施した改革改善の内容	協働フォーラムのチラシ印刷時には、県ボランティア協会のカラー印刷機の使用が出来たり、講師派遣や情報提供など積極的に活用できた。

事務事業名	県ボランティア協会参画事業	所属部	市民部	所属課	市民活動センター
-------	---------------	-----	-----	-----	----------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 この事業により、市民のボランティアに対する意識が変化し、市民参加が進む。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 県ボランティア協会との連携が深まり事業推進に役立っている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 今後も、維持継続が妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 県ボランティア協会からの情報提供と、相互の事業への協力できる関係性を強化する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 NPO、ボランティア活動推進のために、加入し連携を図る。左記に同じ。 必要がある。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の予算額である。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 人件費がかかっていない。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 NPO、ボランティア団体、市民団体に還元されるので公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	県ボランティア協会に加盟することで、県内の情報を共有することができる。今後も、さらに連携を深め、相互に活発な活動ができるように努めていく。
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)
<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	
(2) 改革改善案について	コス
県ボランティア協会の持っている情報を活用していく。	ト水準
	削減
	維持
	増加
	※ 廃止・休止の場合は記入不要
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度
情報交換を積極的に行っていく。	成果優先度評価結果
	コスト削減優先度評価結果